

職員研修を行いました

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の医師を講師にお招きし、「小学生と救急医療」という題目で、小学生のけがの傾向、応急処置、注意するポイントなどについて研修を行いました。以下は研修の内容の抜粋です。

- 上下肢の打撲・捻挫・骨折に対する応急処置の基本は、安静(Rest)・冷却(Icing)・圧迫(Compression)・拳上※(Elevation)のRICE処置である。 ※拳上…心臓より高く上げること
- 子どもの場合、骨がやわらかく変形がみられない場合もあるが、痛みが強く長引く場合は医療機関を受診する。
- 頭部打撲は時間経過にも注意が必要であり、24時間は注意して過ごす必要がある。
- 脳震盪は要注意であり、当日のスポーツ再開はしない。
- 頭頸部のけがは頸椎損傷にも注意を払い、首の痛みと手のしびれがある場合は医療機関を受診する。
- 熱中症の初期症状としては「足がつる」、「ボーっとする」が多いが、予防が重要である。
- アナフィラキシーショックの症状が見られる場合は、必ず救急要請をする。



【研修の様子】

職員は、救急医療についての理解を深めるとともに、応急処置や小児医療への関心がより高まりました。

また、名古屋市教育委員会が作成した研修動画「学校現場での救急対応について」を活用した校内研修も行いました。実際の事例を交えながら、迷ったら緊急度の高い判断(オーバーリアージ)をすることを確認しました。

研修の内容を生かし、全職員が一丸となって、より安心安全な学校にしていきます。

【学校施設の安全点検及び対策】

児童が安心して遊具や教室などの施設や設備を使うことができるように、毎月1日、校内の安全点検を実施しています。職員で担当場所を分担し、危険箇所や壊れているところがないかを点検項目一覧表(右図、一部抜粋)を基に確認しています。修理や修繕が必要な場合は、業者に依頼しています。なお、遊具やバスケットゴールなど、職員の目視だけでは判断しにくい設備については、定期的に業者が点検しています。

※ 9月のけがや保健室利用の状況は、次号でお知らせします。



A 室内・廊下の点検項目		B 手洗い場・トイレの点検項目	
点検項目	チェック欄	点検項目	チェック欄
天井、壁、床の破損	<input type="checkbox"/>	天井、壁、床の破損	<input type="checkbox"/>
ガラスの破損	<input type="checkbox"/>	便器、蛇口の破損	<input type="checkbox"/>
机・椅子の破損	<input type="checkbox"/>	ドア、障子の破損	<input type="checkbox"/>
電子機器等の破損 (コンセント、LAN等)	<input type="checkbox"/>	窓の破損	<input type="checkbox"/>
机・椅子の異常 (破損・汚染)	<input type="checkbox"/>	ガラスの破損	<input type="checkbox"/>
窓・カーテンの破損	<input type="checkbox"/>	排水溝のつまり	<input type="checkbox"/>
掲示板・掲示物の固定	<input type="checkbox"/>	照明器具固定(異常)	<input type="checkbox"/>
転倒落下防止 照明器具・テレビ・板の固定	<input type="checkbox"/>	転倒落下防止	<input type="checkbox"/>
ロッカー・搬上の不備物撤去	<input type="checkbox"/>	危険物の撤去 (針・釘など)	<input type="checkbox"/>
網・ロッカーの空疎	<input type="checkbox"/>		
遊具類の修理依頼	<input type="checkbox"/>		
廊下の通行妨害物	<input type="checkbox"/>		
危険物の撤去 (瓦礫・釘・茶葉など)	<input type="checkbox"/>		
防火用紙 (バタフタ封紙)	<input type="checkbox"/>		

○ 異常内容メモ欄